

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド 再セットアップ編

再セットアップする

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX

(Windows NT 4.0インストールモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。また、印のマニュアルは、省スペース型モデルの場合は、電子化マニュアルをご覧ください。詳しくは、『はじめにお読みください』6. マニュアルの使用方法をご覧ください。

添付品の確認、本機の接続、Windows NT 4.0のセットアップ
→ 『はじめにお読みください』

本機を安全に使うための情報
→ 『安全にお使いいただくために』

Windows NT 4.0の基礎知識、基本的な操作方法
→ 『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』

本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、SCSIの設定
→ 『活用ガイド ハードウェア編』

MA46H/Sのシステム設定(BIOS設定)
→ 『本機をお使いの方へ』

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ
→ 『活用ガイド ソフトウェア編』

トラブル解決方法
→ 『活用ガイド ソフトウェア編』

このマニュアルです

再セットアップ方法
→ 『活用ガイド 再セットアップ編』

本機の機能を拡張する内蔵機器の取り付け方、内部構造の説明
→ 『ハードウェア拡張ガイド』

ATコマンドについて
→ 『ATコマンド(電子化マニュアル)』

ディスプレイの利用方法
→ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
→ Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎10・花子10バック& 1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介
→ 『メンテナンス&サポートのご案内』

パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介
→ 『NEC PCあんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>

はじめに

このマニュアルは、再セットアップの方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows NT の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windows NT もしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

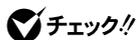
仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART4 付録」をご覧ください。

1999年 10月 初版
2000年 1月 二版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX (Windows NT 4.0インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC98-NXシリーズ Mate NX(Windows NT 4.0インストールモデル)を指します。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブがない状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows NT、 Windows NT 4.0、 Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
スーパーディスク	Super Disk™

このマニュアルで使用している画面

- ・このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT Workstation 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、BookshelfおよびWindows NTのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Savage4はS3社の商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社社の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメージーション社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999, 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要可については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

このマニュアルの構成・読み方

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(☑チェック!!)、用語(用 語)、メモ(メ モ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

目次

索引

PART1 再セットアップする

本機に添付されているフロッピーディスクやCD-ROMを使って、本機のシステムを出荷時の状態に復元する方法を説明しています。

はじめに.....	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	6
このマニュアルの構成・読み方	7
目次(このページです).....	8
索引	9
再セットアップする	11
再セットアップについて	12
再セットアップが必要になるとき	12
システムの修復方法について	12
再セットアップの種類	13
再セットアップに関する注意	14
システムを修復する.....	15
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する	15
「Windows NTセットアップの修復」を使用して システムを修復する	16
標準再セットアップをする(推奨).....	18
再セットアップする前に.....	18
再セットアップする	19
個別再セットアップをする	21
再セットアップする前に.....	21
再セットアップする	28
再セットアップ後のネットワーク設定について	56
スーパーディスク3モード対応ドライバと 専用フォーマットユーティリティについて	57
FDISKについて	60

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。
ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

3モード	54
Administrator権限	42
FATファイルシステム	34
FDISK	60
MS-DOS.....	61, 63
NTFSファイルシステム	34
PC-NF-U001	14
PC-NF-U002	14
Setup Disk	21
Windows NTセットアップの修復 ...	16

カ行

起動ディスク	24
グラフィックセットアップ	39
構成の回復メニュー	15
個別再セットアップ	21

サ行

再セットアップ	12, 21, 28
システム修復ディスク	16
システムの修復方法	12
スーパーディスク	54

タ行

ドライバのアップデート	44
-------------------	----

ナ行

内蔵アクセラレータドライバの 再セットアップ	50
---------------------------------	----

ハ行

ハードウェアプロファイル	15
バックアップ	14
バックアップCD-ROM	21
標準再セットアップ	18

再セットアップする

システムの修復方法や、本機に添付されているCD-ROMなどを使って、本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法、ハードディスクの領域、ファイルシステムを変更する方法について説明しています。

この章の読み方

必ず次ページの「再セットアップについて」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

再セットアップについて	12
システムを修復する	15
標準再セットアップをする(推奨).....	18
個別再セットアップをする	21



再セットアップについて

システムにトラブルが起こったとき、システムを復元しなければなりません。起こった症状や目的によって対処方法は異なります。

再セットアップが必要になるとき

次のような状況のときに、本機を再セットアップしてください。

- ・ ハードディスク内のプログラムファイルが不正になり、プログラムが起動できなくなった
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった
- ・ 電源を入れてもシステムが起動しない
- ・ システムの修復を行っても問題が解決できない
- ・ 本機内蔵のハードディスクを工場出荷時と異なるドライブ構成で使いたい

システムの修復方法について

システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状態により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

- ・ 「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」(P.15)
- ↓
- ・ 「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復
「Windows NTセットアップの修復」を使用してシステムを修復する」(P.16)
- ↓
- ・ 再セットアップを行う

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加』をご覧ください。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2通りの方法があります。

標準再セットアップ(推奨)

Windows NT 4.0とドライバを同時にセットアップします。

画面の指示に従って操作できるので、個別再セットアップより簡単に工場出荷時と同じ状態に戻すことができます。

また、8.4GBまでのハードディスクのほぼ全領域をブートパーティションとして、セットアップすることができます。

システムをセットアップするハードディスクのブートパーティション領域は、2GB(FAT)、2GB(NTFS)、全領域(NTFS)から選択できます。

- ✓チェック!**
- ・8.4GBを超える容量のハードディスクをご使用の場合は、全領域(NTFS)を選択しても8.4GBのみの領域確保になります。また、8.4GBのハードディスクをご使用の場合は、全領域(NTFS)を選択しても未使用領域が数10MB残ります。
 - ・標準再セットアップではお客様が確保された第2パーティション以降もフォーマットされ、工場出荷時と同じ状態に戻りますが、2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。データのバックアップを忘れずに行ってください。

参照 工場出荷時の状態 『はじめにお読みください』 7 使用する環境の設定と上手な使い方』5.ハードディスクドライブの領域確保」

参照 「標準再セットアップをする (P.18)

個別再セットアップ

Windows NT 4.0をセットアップした後にドライバを個別にセットアップします。

ハードディスクのブートパーティション領域を2GB～4GBの範囲に設定してセットアップする時にご利用ください。

また、NetPCモデルの場合は、この方法で再セットアップしてください。

参照 「個別再セットアップをする (P.21)

再セットアップに関する注意

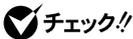
- ・「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」の¥NT40ディレクトリにWindows NT 4.0の補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・バックアップCD-ROMで再セットアップできるのは、本機に標準で添付されていたソフトウェアのみです。お客様ご自身が、後からインストールされたアプリケーションや、作成されたデータは復元されません。お客様ご自身が後から変更した設定やデータはすべて消え初期状態に戻ります。再セットアップを行う前に大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・本機を購入時の構成に戻してください。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器(NetPCモデルの場合は、フロッピーディスクドライブが必要です)は、再セットアップ前に一度取り外し、再セットアップ後にもう一度、接続と設定を行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・NetPCモデルの場合は、「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)」（別売）の外付けフロッピーディスクドライブを接続する必要があります。また、本機に接続する際、「管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)」（別売）が必要です。
また、本機とネットワークにて接続された、CD-ROMドライブを内蔵するパソコン(Windows NT Workstation 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT Workstation 3.51 または Windows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたもの)が必要です。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・再セットアップ中は電源スイッチを押さないでください。
- ・選択アプリケーションのあるモデルの場合、それぞれの選択アプリケーションは再セットアップ完了後、添付のCD-ROMから追加してください。追加方法は『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windows NTが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。



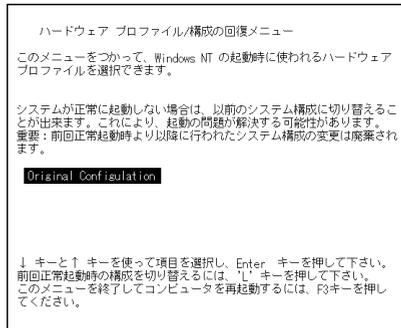
チェック!

- ・前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- ・構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行ないます。

1 問題があるWindows NTを起動する

- 2 画面に「ここで【Space】を押すと、ハードウェアプロファイル/システム構成の回復メニューが表示されます。」の文字が表示されたら、【Space】を押す
次の「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」が表示されます。



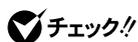
このメニューでは次のいずれかを選択できます。

- ・ 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
- ・ 前回正常起動時の構成の切り替え
- ・ 本機の再起動

- 3 ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題を発生する前の構成でWindows NTを再起動するので、【L】を押し、【Enter】を押す
これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows NTが起動します。

「Windows NTセットアップの修復」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、前回正常起動時の構成を使用してもWindows NTが正常に起動しなかった場合、「Windows NTセットアップの修復」ならびに「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復できます。「システム修復ディスク」を作成していない場合または紛失してしまった場合でも、Windows NTのrepairディレクトリの中に修復に必要な情報が保存されているため修復は可能です。



NetPCモデルの場合は、あらかじめネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」を(スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は不要)CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする
- 2 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」画面でWindows NTをセットアップするのか、Windows NTを修復するのかを指定するよう聞かれるので、【R】を押してWindows NTのファイルの修復を選択する
- 4 画面の指示に従って修復を行う。「システム修復ディスク」をセットするように指示されたら、「システム修復ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。「システム修復ディスク」がない場合は、本機上で見つかったWindows NTの一覧が表示されるので、修復するWindows NTを指定する

- 5 画面の指示に従って修復を行う。「...は、セットアップでWindows NTのインストール時にコピーしたオリジナルのファイルではありません。」と表示されたら、スキップを選択する
スキップを選択しないと修復できません。
- 6 修復終了のメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブよりフロッピーディスクを取り出して再起動する

**チェック!!**

- ・修復ディスクユーティリティをバックアップ目的に使用することは避けてください。
- ・Windows NTのrepairディレクトリ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。構成情報を最新にするには、rdisk.exeを使用してください。使用方法については、Windows NTのオンラインヘルプ「修復ディスクユーティリティのヘルプ」をご覧ください。

標準再セットアップをする(推奨)

本機にWindows NT 4.0とドライバを同時にセットアップする方法について説明しています。NetPCモデルの場合は、この方法では再セットアップできません。「個別再セットアップをする(P.21)を行ってください。

再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報について説明しています。再セットアップを行う前に必ずお読みください。また、前述の「再セットアップについて」の「再セットアップに関する注意」(P.14)も必ずお読みください。

準備するもの

再セットアップを行うには、次のものがが必要です。

本機に添付されている次のCD-ROMとフロッピーディスクを用意してください。

- ・Windows NT Workstation CD-ROM Disc1
- ・システムインストールディスク
- ・バックアップCD-ROM(OSを除く)
- ・サービスパック5 CD-ROM
- ・『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』

再セットアップする前の確認事項

BIOSの設定を変更している場合は、必ず工場出荷時の状態に戻してください。また、パスワードを解除してください。

参照 BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定「BIOSセットアップメニューについて」の「工場出荷時の設定値に戻す」

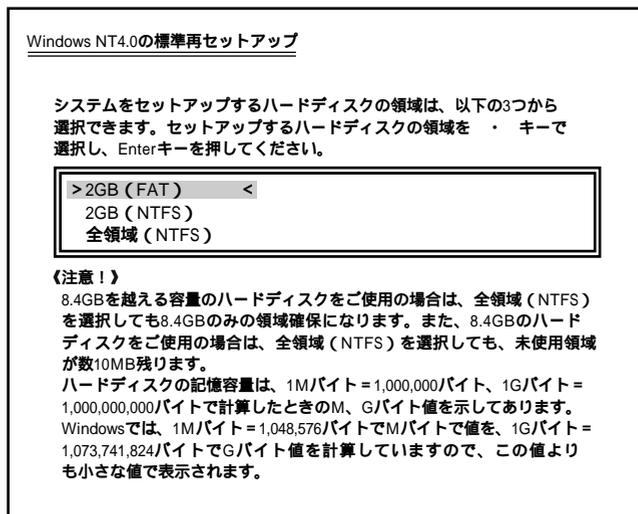
MA46H/Sをお使いの方は「本機をお使いの方へ」BIOSセットアップメニューについて「工場出荷時の設定値に戻す」

参照 パスワードを解除するには『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定「セキュリティの設定」

MA46H/Sをお使いの方は「本機をお使いの方へ」Security Setupの設定」

再セットアップする

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「システムインストールディスク」をセットし、CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする
- 2 次の画面が表示されるまで画面の指示に従う



- 3 **【 ↑ 】**でシステムをセットアップするハードディスクの容量とフォーマット形式を選択して、**【 Enter 】**を押す

- ✓ チェック!!**
- ・ システムをセットアップするハードディスクのブートパーティション領域は、2GB (FAT)、2GB (NTFS)、全領域 (NTFS) から選択できます。ただし、8.4GBを越える容量のハードディスクをご使用の場合は、全領域 (NTFS) を選択しても8.4GBのみの領域確保になります。また、8.4GBのハードディスクをご使用の場合は、全領域 (NTFS) を選択しても未使用領域が数10MB残ります。
 - ・ ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。Windowsでは、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

4 手順3で「2GB(NTFS)」または「全領域(NTFS)」を選択した場合は、途中で次の画面が表示されるので、【Enter】を押す

```
Microsoft (R) Windows NT (R) Version 4.0 (Build 1381: Service Pack 1).
1 System Processor [xx MB Memory]
...The type of the file system is FAT.
Volume Serial Number is xxxx-xxxx
CHKDSK is verifying files and directories...
File and directory verification completed.

XXXXXXXXXX bytes total disk space.
XXXXXX bytes in x hidden files.
XXXXXXXXXX bytes in xxx directories.
XXXXXXXXXX bytes in xxx user files.
XXXXXXXXXX bytes available on disk.

XXXXX bytes in each allocation unit.
XXXXX bytes total allocation units on disk.
XXXXX bytes allocation units available on disk.
Converting drive \Device\Harddisk0\partition1 to NTFS

Convert will take some time to process the files on the volume.
When this phase of conversion is complete, the system will be
rebooted.

Determining disk space required for filesystem conversion
Total disk space: xxxxxxx Kilobytes.
Free space on volume: xxxxxxx Kilobytes.
Space required for conversion: xxxxx Kilobytes.
Converting file system

Preinstallation completed successfully. Press any key to
shut down\reboot.
```

5 「ようこそ - Microsoft Internet Explorer」画面が表示されるまで画面の指示に従う

以上で、再セットアップは終了です。選択アプリケーションのあるモデルは各アプリケーションを再セットアップしてください。

参照

『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加』の各アプリケーションの「追加」

個別再セットアップをする

本機にWindows NT 4.0とドライバを個別にセットアップする方法について説明しています。ハードディスクのブートパーティション領域を2GB～4GBの範囲に設定してセットアップする時にご利用ください。工場出荷時と同じ状態(2GB)に戻したい場合やNTFSでハードディスクのブートパーティション領域を広く設定してセットアップする場合は、前述の**標準再セットアップをする(推奨)**(P.18)を行ってください。

再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

再セットアップを始める前に必ずお読みください。

準備するもの

再セットアップを行うには、次のものがが必要です。

本機に添付されている次のCD-ROMとフロッピーディスクを用意してください。

- Windows NT Workstation CD-ROM Disc1, Disc2
- Windows NT Workstation Setup Disk1 ~ Disk3
- バックアップCD-ROM(OSを除く)
- バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク
- サービス バック 5 CD-ROM
- 『Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0) ドライバディスク』
(Ultra SCSI インターフェースボード(Wide対応)搭載モデルのみ)
- 『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』

また、次のものを用意してください。

- 新しいフロッピーディスク 1枚(1.44Mバイトでフォーマットしたもの)
フロッピーディスクには『Windows NT 修復ディスク』のラベルを貼っておいてください。

さらに、NetPCモデルの場合は、次のものを用意してください。

- ・ 管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)(別売)
- ・ 管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)(別売)
- ・ 「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)(別売)」に添付されている次のフロッピーディスク

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

必要なハードディスクの空き容量

再セットアップにはハードディスクに次の容量が必要になります。

- ・ 約2Gバイト以上

再セットアップする前の確認事項

BIOSの設定を変更している場合は工場出荷時の状態に必ず戻してください。また、パスワードを解除してください。



チェック!!

工場出荷時のBIOSの設定では、起動するデバイスの順番が、ATAPI CD-ROMの方が、ハードディスクよりも優先されます。システムの再起動を行うときは、本機からCD-ROMを取り出して再起動するか、起動するデバイスの優先順位を変更してください。「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をドライブに入れた状態で再起動した場合は、「セットアップへようこそ」の画面で【F3】を押し、CD-ROMを取り出して再起動し直してください。



参照

BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』の「BIOSセットアップメニューについて」工場出荷時の設定値に戻す」

MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』BIOSセットアップメニューについて」工場出荷時の設定値に戻す」



参照

パスワードを解除するには『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』セキュリティの設定」

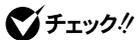
MA46H/Sをお使いの方は『本機をお使いの方へ』Security Setupの設定」

スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定

3.5インチベイにスーパーディスクドライブを搭載しているモデルでは、「Windows NT Workstation Setup Disk (フロッピーディスク)を使った再セットアップは行えません。

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc (CD-ROM)だけを使ってWindows NTの再セットアップを行う必要があります。

BIOSセットアップメニューを以下のように設定することによってCD-ROMからのWindows NTのセットアップが可能になります。



チェック! BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』をご覧ください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で「<F2> :BIOSセットアップメニューを起動します、<F12> :ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押す
- 3 メニューバーの「起動」で、「ATAPI CD-ROMドライブ」を【+】【-】で起動デバイスの「1.」に移動する
この設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NTのセットアップ後は元に戻してください。
- 4 メニューバーの「メイン」の「フロッピーディスクA:」およびメニューバーの「詳細」の「周辺機器設定」の「フロッピーディスクコントローラー」が「使用しない」になっていることを確認する
「使用しない」以外になっている場合は、【+】【-】で「使用しない」を選択する
- 5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す
- 6 「はい」を選択し、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NTのセットアップがCD-ROMドライブから行えます。

「再セットアップする (P.28)に進んでください。

NetPCモデルの設定

NetPCモデルの場合は、再セットアップする前に起動ディスクの環境の変更とシステム設定を変更する必要があります。

起動ディスクの環境の変更

-  **チェック!!** 起動ディスクは、あらかじめ複製を行ない、複製したものを使用してください。また、ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

起動ディスクは、標準で次の設定が行われています。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
コンピュータ名 : NETFINE
ドメイン : なし
ユーザ名 : ADMINISTRATOR

利用する環境に応じ、edit等のエディタを用いて、起動ディスクの環境ファイルを修正してください。

-  **チェック!!** できる限りドメインにログオンする設定にしてください。

1 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」の「¥NDIS2」フォルダにある次のファイルを「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」に上書きコピーする

「起動ディスク#1」

¥NDIS2¥CONFIG.SYS ¥CONFIG.SYS
¥NDIS2¥PROTOCOL.INI ¥LANMAN.DOS¥PROTOCOL.INI
¥NDIS2¥ACCND.DOS
¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥ETHERNET¥EN1207D¥ACCND.DOS

「起動ディスク#2」

¥NDIS2¥PROTOCOL.INI ¥LANMAN.DOS¥PROTOCOL.INI

-  **チェック!!** ・本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。
・上書き確認のメッセージが表示された場合は、「Y」を選択してください。

例 CD-ROMドライブがDドライブ、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合、コマンドプロンプトから次のように入力する

「起動ディスク#1」

```
A: 【Enter】
CD ¥ 【Enter】
COPY D:¥NDIS2¥CONFIG.SYS 【Enter】
CD ¥LANMAN.DOS 【Enter】
COPY D:¥NDIS2¥PROTOCOL.INI 【Enter】
CD DRIVERS¥ETHERNET 【Enter】
MD EN1207D 【Enter】
CD EN1207D 【Enter】
COPY D:¥NDIS2¥ACCND.DOS 【Enter】
```

「起動ディスク#2」

```
A: 【Enter】
CD ¥LANMAN.DOS 【Enter】
COPY D:¥NDIS2¥PROTOCOL.INI 【Enter】
```

2 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルを次のように編集する

```
@ECHO OFF
rem A:¥DMICHECK.EXE /SW=B,J,K,M,Y remを追加
rem IF ERRORLEVEL 1 GOTO NT40 remを追加
rem ADDDRV WIN95.DRV remを追加
:
:
```

3 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する

 **チェック!!** DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

[TCPIP_XIF]

DISABLEDHCP = 1

DHCPによる割り当てを無効にします。

IPADDRESS0 = 10 0 0 1

IPアドレスを指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

SUBNETMASK0 = 255 0 0 0

サブネットマスクを指定します。

4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名」を次のように変更する

[workstation]

computername = NETFINE

コンピュータ名を指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する

 **チェック!!** ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。

NET LOGON /D:domain user

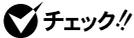
domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

以上で起動ディスクの環境の変更は終了です。
次に「 システムの設定を変更する 」に進んでください。

システムの設定を変更する

BIOSの設定を以下のように設定してください。

Windows NTの再セットアップ後、元に戻す必要があります。現在の設定を控えておいてください。



チェック!

BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定』をご覧ください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの表示画面で <2> :BIOSセットアップメニューを起動します、<F12> :ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押し、メニューを起動する

3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する

フロッピーディスクA:1.44/1.25 Mb 3.5"

4 メニューバーの「起動」で「取り外し可能デバイス」を選択し、【+】を押してリストの一番上に移動して以下のようにする

1. [取り外し可能デバイス]
2. [ハードディスク]
3. [ネットワークブート]
4. [ATAPI CD-ROM ドライブ]

5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す

以上でシステムの設定は終了です。

「再セットアップする (P.28)に進んでください。

再セットアップする

Windows NTを再セットアップするには次の手順で行います。

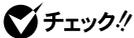
- ・ Windows NTの再セットアップ
- ・ ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)
- ・ USB接続キーボードドライバの再セットアップ
- ・ ドライバのアップデート
- ・ 内蔵サウンドドライバの再セットアップ
- ・ 内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ
- ・ 内蔵FAXモデムモードの再セットアップ
- ・ スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの再セットアップ

ここでは、次のようなドライブ構成になっている場合を例に説明します。実際と異なる場合は、読み替えてください。

Cドライブ：Windows NTを再セットアップするドライブ

Aドライブ：フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Dドライブ：CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブ



チェック!!

- ・ 「ドライバのアップデート」以降の作業は、必ずAdministrator権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているかわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・ スーパーディスクドライブとフロッピーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルの場合は、フロッピーディスク搭載モデルとして再セットアップを行ってください。

Windows NTの再セットアップ

ここでは、Windows NTのセットアップ手順について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』をご覧ください。

- ✓ **チェック!** 3.5インチベイに搭載されているドライブの種類によって、セットアップの手順が異なります。お使いのモデルに該当する箇所をご覧ください。
- ・ NetPCモデルの場合(このページ)
 - ・ フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合(P.31)
フロッピーディスクドライブとスーパーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルをご使用の場合もここをご覧ください。
 - ・ スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合(P.35)

NetPCモデルの場合

- ✓ **チェック!** 必ず前述の「NetPCモデルの設定 (P.24)」で起動ディスクの環境の変更とシステム設定を変更してから再セットアップを行ってください。

- 1 「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットし、本機の電源を入れる
- 2 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットし、【Enter】を押す
- 3 ユーザ名を聞かれたら、ユーザ名を入力する
標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。
- 4 ユーザのパスワードを入力する
ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。
他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。

- ✓ **チェック!**
- ・ 手順4により以前にネットワークコンピュータの共有資源に接続していた場合は、その共有資源に再接続されます。その際、手順5は必要ありません。
 - ・ 以前に接続していたネットワーク環境との違いにより、接続修復エラーとなる場合があります。この場合、「接続のロードを続けますか?(Y/N)」と表示された場合は【Y】を、「再接続しますか?(Y/N)」と表示された場合は【N】を入力してから手順5に進んでください。

5 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークで接続するので、コマンドプロンプトから次のように入力する

NET USE <ドライブ名:>¥<ネットワークコンピュータ名>
¥<ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名>
【Enter】

パスワードを聞かれた場合は、共有名のパスワードを入力してください。

6 FDISKコマンドで領域の確保を行う 領域の確保を行わない場合は手順12に進んでください。

参照 ▶ FDISKの使い方 「FDISKについて」(P.60)

- ☑ **チェック!!**
- ・Cドライブ(再セットアップするドライブ)の状態がアクティブになっていることを確認してください。アクティブになっていない場合はFDISKにてアクティブにした後、以降の手順を行ってください。
 - ・Windows NTを再セットアップするドライブは、2Gバイト以上の容量が必要です。

7 領域の確保後、「ドライブAにMS-DOSのシステムディスクをいれてください。」のメッセージが表示された場合は、「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットして何かキーを押す

8 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットして何かキーを押す

9 ユーザー名を聞かれたら、ユーザー名を入力する 標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。

10 ユーザーのパスワードを入力する ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。 他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。

- 11 ハードディスクを初期化するので、次のように入力する
FORMAT <フォーマットするドライブ>:【Enter】
- 12 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)に「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする
- 13 コマンドプロンプトから次のように入力する
<共有したCD-ROMドライブ番号>:¥1386¥WINNT /B【Enter】
- 14 画面の指示に従ってセットアップを続ける
- 15 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合」の手順3へ進む

フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセット、CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセット
- 2 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押し、画面の指示に従う
- 4 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押して手順13に進む
Ultra SCSIインタフェースボードが搭載されているモデルの場合は、「検出のスキップ」を選択する
- 5 「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する
- 6 デバイスの一覧から「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

7 ドライバが入っているディスクをセットするように表示されるので、フロッピーディスクドライブに、「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0)ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

8 ドライバの一覧から次のドライバを選択し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

9 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、追加デバイスの指定を選択する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

 **チェック!** デバイスが追加されない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

10 一覧から「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)PCI IDE Controller」を選択し、【Enter】を押す

11 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える

12 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

13 「シリンダの数 \geq 1024を超えるハードディスクが存在します。」と表示されたら、【Enter】を押す

14 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み【F8】を押す

「Page Down」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、再セットアップはできません。



チェック!! 本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうかを確認する画面が表示されますが、ここでは【N】を押して、アップグレードしないで再セットアップを続けてください。

15 キーボードの種類を聞いてくるので、「106 日本語キーボード」を選択する

ここでは接続しているキーボードの種類にかかわらず、「106日本語キーボード」を選んでください。

16 「106日本語キーボード よろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す

USB接続のキーボードドライバの変更は、Windows NT本体の再セットアップ後に行います。

17 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で、【 】を押して「コンピュータ:標準PC」にあわせ、【Enter】を押す

18 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

19 「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、【Enter】を押す

20 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク...」の画面で「PC98-NX Mate NX」を選択し、【Enter】を押す

21 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」を表示されていることを確認し、【Enter】を押す

22 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。
NTFSファイルシステムをご使用になる場合は、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。工場出荷時は、FATファイルシステムです。
FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの詳細は、『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。

23 画面の指示に従ってセットアップを続行する

24 ファイルのコピー開始後、「次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください」のメッセージが表示されたら、以下のフロッピーディスクをセットし、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」

25 ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されるので、ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、【Enter】を押す
自動的に再起動します。

以上で、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「グラフィックセットアップ (P.39)へ進んでください。

スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合

☑️ **チェック!!** 「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定 (P.23)でBIOSの設定を変更してから再セットアップを行ってください。

- 1 Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルの場合は、手順6に進む
- 2 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「 Windows NT CD-ROM Disc1 」をセット、フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットする

☑️ **チェック!!** 手順28まで、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」は取り出さないでください。

- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
- 4 画面の指示に従う
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 5 「IDE CD-ROM(ATAPI1.2)PCI IDE Controller」が表示されていることを確認して【Enter】を押し、手順17に進む
- 6 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「 Windows NT CD-ROM Disc1 」をセットする
- 7 「セットアップはコンピュータのハードウェア構成を検査しています」の画面が表示されたら、【F6】を押す
- 8 「セットアップはシステムにインストールされている1つ以上の大容量記憶装置の種類を判断できませんでした。」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する
- 9 「次の一覧から使用するSCSIアダプタの種類...」のメッセージが表示されたら、「デバイスの一覧」から「その他」を選択し、【Enter】を押す

10 ドライバが入っているディスクをセットするように表示されるので、スーパーディスクドライブに「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0)ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

11 ドライバの一覧から次のドライバを選択し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

12 「次の大容量記憶装置をサポートするドライバを読み込みます」の一覧に、次のものが追加されていることを確認する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

13 追加されていることが確認できたら、「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」をセットし、【Enter】を押す

 **チェック!!** 手順27まで「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」は、絶対に取り出さないでください。誤って取り出してしまった場合、セットアップが途中でできなくなることがあります。

14 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

15 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

16 「シリンダの数1024を越えるハードディスクが存在します。」と表示されたら、【Enter】を押す

- 17** ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み【F8】を押す
【PageDown】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

 **チェック!!** 本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうかを確認する画面が表示されますが、ここでは【N】を押して、アップグレードしないで再セットアップを続けてください。

- 18** キーボードの種類を聞いてくるので、「106日本語キーボード」を選択する
ここでは、接続しているキーボードの種類に関わらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

- 19** 「106日本語キーボード よろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す
USB接続キーボードドライバの変更は、Windows NT本体のセットアップ後に行います。

- 20** 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で、【 】を押して「コンピュータ:標準 PC」にあわせ、【Enter】を押す

- 21** 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

- 22** ハードウェア提供のサポートディスクをセットするように表示されるので、【Enter】を押す

- 23** 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク…」の画面で「PC98-NX Mate NX」を選択し、【Enter】を押す

- 24** 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」と表示されていることを確認して、【Enter】を押す

25 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。
NTFSファイルシステムをご使用になる場合は、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。工場出荷時は、FATファイルシステムです。
FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの詳細は、『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。

26 画面の指示に従って再セットアップを続行する

27 ファイルのコピー開始後、「次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください」のメッセージが表示されたら、以下のフロッピーディスクをセットし、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」

28 ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージ表示されるので、ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、【Enter】を押す
自動的に再起動します。

以上で、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「グラフィックセットアップ」へ進んでください。

グラフィックセットアップ

- 再起動後、グラフィックセットアップの画面が表示されるので、画面の指示に従って次の設定を行う
 - ・ セットアップ方法

 **チェック!** 工場出荷時の状態に戻すには、セットアップ方法の選択画面で必ず「カスタム」を選択してください。

- ・ 個人情報の入力
- ・ プロダクトIDの登録
プロダクトIDは、添付の『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。
- ・ コンピュータ名の登録
- ・ 管理者アカウントのパスワードの登録
「管理者アカウントのパスワード登録」を設定するときは、キーボードのテンキーでの入力できません。
- ・ システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合に備えて必ず選択してください)
- ・ インストールするファイルの選択

 **チェック!** 工場出荷時の状態に戻すには、インストールするファイルの選択画面では、すべてのファイルにチェックを付けてください。

- 「ネットワークに参加する」「ネットワークに接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
LANアダプタを内蔵していないモデルやネットワークに接続しない場合は、「まだネットワークに参加しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、手順9に進んでください。再セットアップ終了後にネットワークを設定する場合は、「再セットアップ後のネットワーク設定について」(P.56)をご覧ください。

 **チェック!** NetPCモデルをお使いの場合は、必ずここでネットワークに参加してください。ここでネットワークに参加しなければ、後から参加することはできません。

3 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリック

 **チェック!** 「次を検索」ボタンは、クリックしないでください。クリックした場合は、検出されたネットワークアダプタのチェックボックスのチェックを外して次に進んでください。

4 ネットワークアダプタの選択画面で「ディスク使用」ボタンをクリック

5 「フロッピーディスクの挿入」の画面が表示されるので、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/Cの場合 >
A:¥E100B

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
A:¥ACC07D

6 「OEMオプションの選択」の画面が表示されるので、リストから次のネットワークアダプタを選択し、「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/Cの場合 >
「Intel(R) PRO Adpter」

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
「Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter」

7 ネットワークアダプタの検索画面に選択したネットワークアダプタが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

8 ネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加



チェック!!

- ・ ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「D:¥1386」と入力して「続行」ボタンをクリックしてください。
- ・ インストール中にディスプレイの設定画面が表示され、「"Vga互換ディスプレイアダプタ"が検出されました。」という旨のメッセージが表示されますが、そのまま「OK」ボタンをクリックして処理を続行してください。

ファイルのコピー終了後、手順1で選択した「システム修復ディスク」の作成を行います。

9 用意しておいたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック

「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスクドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出してください。

10 「コンピュータの再起動」ボタンをクリック

Windows NTを再起動します。

11 3.5インチベイにスーパーディスクドライブが搭載されているモデルをお使いの方は、「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.23)で変更したBIOSの設定を元に戻す NetPCモデルをお使いの方は、「NetPCモデルの設定」(P.24)で変更したBIOSの設定を元に戻す

以上で、Windows NT本体の再セットアップは終了しました。

これ以降の作業は、必ずAdministrator権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているかわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

次に、NetPCモデルをお使いの方は、「ネットワークドライブの設定 (NetPCモデルのみ)」、USB接続キーボードをお使いの方は、「USB接続キーボードドライバの再セットアップ (P.43)」、PS/2 109キーボードをお使いの方は、「ドライバのアップデート (P.44)」に進んでください。

ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)

NetPCモデルの場合、Windows NTの再セットアップ後に以降の「USBキーボードドライバの再セットアップ」および「ドライバのアップデート」を行うため、本機をネットワークに接続し、任意のネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有にします。

 **チェック!!** 次のいずれかのOSがインストールされたネットワークコンピュータを使用してください。

- Windows NT Workstation 3.51またはWindows NT Server 3.51
- Windows NT Workstation 4.0またはWindows NT Server 4.0

- 1** フロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有するコンピュータが起動していて、本機がネットワークでつながっていることを確認する
- 2** 本機の電源スイッチを入れ、Windowsを起動する
- 3** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Windows NTエクスプローラ」をクリック
- 4** 共有するネットワークコンピュータをクリック
- 5** 「ツール」メニュー 「ネットワークドライブの割り当て」をクリック

- 6 共有するネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブを「A:」に割り当てる
- 7 「OK」ボタンをクリック
- 8 手順6、7と同じ作業でCD-ROMドライブも割り当てる

以上でネットワークドライブの設定は終了です。

USB接続キーボードをお使いの方は、「USB接続キーボードドライバの再セットアップ」PS/2 109キーボードをお使いの方は、「ドライバのアップデート」(P.44)に進んでください。

USB接続キーボードドライバの再セットアップ

ここではUSB接続キーボードドライバの再セットアップの手順について説明します。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 「全般」タブをクリック
- 4 「変更」ボタンをクリック
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。
- 6 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットし、「D:¥NT40¥USB」を指定して、「OK」ボタンをクリック
- 7 「デバイスの選択」の画面で次のデバイスを選択し、「OK」ボタンをクリック

<USB109キーボード、USB小型キーボードの場合>

「USB109日本語キーボード(JIS配列)」

<USB98配列キーボードの場合>

「USB PC-9800 配列キーボード」

- 8 「閉じる」ボタンをクリック
- 9 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を取り出し、「はい」ボタンをクリック
- 10 再起動後、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブにセット
- 11 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 12 「ファイル名を指定して実行」画面で次のフォルダを指定し、「OK」ボタンをクリック
D:¥NT40¥NTUPDATE
- 13 画面の指示に従いセットアップを行う
- 14 セットアップが終了したら「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を取り出し、本機を再起動する

以上でUSB接続キーボードドライバの再セットアップは終了です。
次に「ドライバのアップデート」に進んでください。

ドライバのアップデート

ここでは、Windows NTのアップデートの手順について説明します。

-  **チェック!!** ドライバをアップデートする前に、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」の¥NT40ディレクトリにある「README.TXT」を必ずご覧ください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 3 「インストール」ボタンをクリックし、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットして「次へ」ボタンをクリック

4 「A:\NXSETUP.exe」と表示されるので、「完了」ボタンをクリック

- ✔ **チェック!!** 「A:\NXSETUP.exe」が表示されない場合は、「参照」ボタンをクリックし、フロッピーディスクドライブの「NXSETUP.exe」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

5 「PC98-NXシリーズバックアップ(OSを除く)セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が起動するので、「Windows NT4.0のアップデート」が選択されていることを確認し、「インストール」ボタンをクリック

- ✔ **チェック!!** CD-ROMドライブを設定するダイアログボックスが表示された場合は、CD-ROMドライブを指定してください。

6 「Windows NT Workstation 4.0 CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブのトレイにセットし、【Shift】を押し続けたままトレイエジェクトボタンを押す

- ✔ **チェック!!** 【Shift】を途中で放すと「Windows NT CD-ROM」画面が表示されます。この場合は、 ボタンをクリックし、「NXSETUP」の画面で【Shift】を押しながら手順7を実行してください。

7 「OK」ボタンをクリック 「ファイルをコピーしています...」と表示されます。

8 コピーの終了後、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

9 6~8と同じ手順を「サービスパック5 CD-ROM」で行う

- ✔ **チェック!!** 【Shift】を途中で放すとInternet Explorerが起動します。この場合は、 ボタンをクリックし、「NXSETUP」の画面で【Shift】を押しながら手順7を実行してください。

10 再起動する旨のメッセージが表示されたら、フロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、「OK」ボタンをクリック 自動的に再起動されます。

- 11 再起動後、「本機対応のWindows NT差分ファイルをインストールします」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 12 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をCD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 13 画面の指示に従いセットアップを行う
- 14 「本機対応Windows NT 4.0アップデート」の画面が表示されたら、メッセージをよく確認した上で「OK」ボタンをクリック
- 15 コピー終了後、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック
「システム設定の変更」画面が表示されます。
- 16 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、CD-ROMとフロッピーディスクをそれぞれのドライブから取り出し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でドライバのアップデートは終了しました。
次に「内蔵サウンドドライバの再セットアップ」に進んでください。

内蔵サウンドドライバの再セットアップ

ハードディスクの¥NT40ディレクトリには内蔵サウンドドライバが保存されています。ここでは、内蔵サウンドドライバの再セットアップ手順について説明します。

MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「マルチメディア」をダブルクリック
- 3 「デバイス」タブをクリック
- 4 「追加」ボタンをクリック
- 5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 6 ドライバのインストール画面になるので、「C:¥NT40¥YMF740」を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「YAMAHA DS-XGオーディオドライバ」の画面になるので、「OK」ボタンをクリック
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバの再セットアップは終了しました。次に「内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ (P.50)」に進んでください。

MA46H/Sの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリック
C:\¥NT40¥AD1881¥Setup.exe
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「About SoundMAX Integrated Digital Audio」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5 「セットアップの完了」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 6 再起動後、「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 7 「名前」に「C:\¥NT40¥MIDI¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「Welcome」の画面で「Next」ボタンをクリック
- 9 「Setup Complete」の画面で「Yes,I want to restart my computer now」を選択し、「Finish」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバの再セットアップは終了です。
次に「内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ (P.50)に進んでください。

MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリック
C:¥NT40¥YMF752¥SETUP.EXE
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5 「YAMAHA AC-XG Driver」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 6 再起動後、「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 7 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:¥NT40¥Y752MIDI¥DISK1¥SETUP.EXE
- 8 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 9 「製品ライセンス契約」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 10 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 11 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリック

- 12** 「Windowsの再起動」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバの再セットアップは終了です。
次に「内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ

ハードディスクの¥NT40ディレクトリには、内蔵アクセラレータのドライバが保存されています。ここでは、内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ手順について説明します。

 **チェック!** 再セットアップを行う前に必ず「サービスパック5」をインストールしてください。本書の手順通り再セットアップを行っている場合は不要です。

内蔵アクセラレータドライバの再セットアップは次の手順で行います。

- 1** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「コントロールパネル」から「画面」をダブルクリック
- 3** 「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 4** 「ディスプレイの種類」ボタンをクリック
- 5** 「変更」ボタンをクリック
- 6** 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。

- 7** 次のディレクトリを指定して「OK」ボタンをクリック
< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合 >
C:¥NT40¥SAVAGE4
- < MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
C:¥NT40¥I810GRPH
- 8** 次のディスプレイリストボックスに表示されるディスプレイ
をクリック
< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合 >
「S3 Inc. Savage4 Display Driver Version *****」
- < MA46H/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、
MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
「Intel Corporation 810 Graphics Controller Hub」
- ***** はバージョン番号です。***** のところに表示される番号は機種
によって異なる場合があります。
- 9** 「OK」ボタンをクリック
- 10** 「サードパーティドライバをインストールしようとしていま
す...続行しますか」のメッセージが表示される場合があるの
で、「はい」ボタンをクリック
- 11** ドライバ組み込み結果が表示されるので、「OK」ボタンをクリッ
ク
- 12** 「閉じる」ボタンをクリック
- 13** 「閉じる」ボタンをクリック
- 14** 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必
要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが
表示されるので、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

ディスプレイがセットになっていないモデルをご利用の場合は、これで内蔵アクセラレータドライバの再セットアップは終了です。手順22以降の説明をお読みください。ディスプレイがセットになったモデルをご利用の場合は、手順15へ進んでください。

- 15 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 16 「画面」をダブルクリック
- 17 「画面のプロパティ」の画面が表示されるので、「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 18 「リフレッシュレート」の一覧からデジタルTFT液晶ディスプレイ(F14T52、F15T42、F15S32)をご利用の場合は、「60ヘルツ」を、その他のディスプレイをご利用の場合は「75ヘルツ」をクリック
- 19 「テスト」ボタンをクリック
- 20 テストビットマップ画面が正しく表示されることを確認する
- 21 しばらくして「テストビットマップは正しく表示されましたか？」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 22 「OK」ボタンをクリック

以上で内蔵アクセラレータドライバの再セットアップは終了です。

次にFAXモデムボード搭載モデルの場合は、「内蔵FAXモデムボードの再セットアップ」、スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合は「スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの再セットアップ」(P.54)に進んでください。その他のモデルの方は各アプリケーションの再セットアップを行ってください。

再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は、必ずWindows NTの再起動後に行ってください。
詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の各アプリケーションの「追加」をご覧ください。

内蔵FAXモデムボードの再セットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「C:\NT40\RWMODEM\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 3 「モデムボードインストールウィザード」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「モデムドライバのインストールが成功しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 6 本機を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボードの再セットアップは終了しました。

次に、スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、「スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの再セットアップ」、その他のモデルの方は各アプリケーションの再セットアップを行ってください。

再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は、必ずWindows NTの再起動後に行ってください。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加』の各アプリケーションの「追加」をご覧ください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの再セットアップ

スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティ(SuperDiskフォーマットユーティリティ)をセットアップする必要があります。

720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。



1.2MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことで、

専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。

- 1 「コントロールパネル」「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 2 「ドライバ」タブをクリック
- 3 「追加」ボタンをクリック
- 4 「ドライバのインストール」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリック
- 5 「フロッピーディスクからインストール」の画面で「配布ファイルのコピー元」に「C:¥NT40¥LS120DRV」を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「Windows NTセットアップ」の画面で「C:¥NT40¥LS120DRV」と指定し、「続行」ボタンをクリック

- 8 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」のメッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリック
- 9 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 10 「名前」にC:\NT40\MKELS120\SETUP.EXEと指定し、「OK」ボタンをクリック
- 11 後はメッセージに従ってセットアップを行う

以上でスーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップが終了しました。

各アプリケーションの再セットアップを行ってください。

再セットアップの後に続けてアプリケーションの追加を行う場合は、必ずWindows NTの再起動後に行ってください。
詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加』の各アプリケーションの「追加」をご覧ください。

再セットアップ後のネットワーク設定について

再セットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「Windows NT ネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「Windows NTの再セットアップ」の「グラフィックセットアップ」(P.39)の手順3~8を行う

 **チェック!** 手順5の「フロッピーディスクの挿入」画面では、次のように入力してください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/Cの場合 >
C:¥NT40¥E100B

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
C:¥NT40¥ACC07D

- 6 インストール終了後、再起動しないですぐにサービスパック5をインストールする

 **参照**

サービスパック5のインストール 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」この章の構成」の「マイクロソフトウィンドウズNT サービスパック5」について」

以上でネットワークのインストールは終了です。

別売の100 BASE-TXインターフェースボード使用時の注意

別売の100 BASE-TXインターフェースボードPK-UG-X006またはPK-UG-X006E(以後、PK-UG-X006ボード)を使用される場合、PK-UG-X006ボードのマニュアルには、本体内蔵ドライバをいったん削除した後、PK-UG-X006ボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にPK-UG-X006ボードを追加する場合は、セットアップ済みの内蔵LANドライバを削除せず、次の手順でドライバをインストールしてください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合 >

PK-UG-X006ボードに添付のドライバディスクの代わりに本機添付の「バックアップCD-ROMインストールディスク」を使用します。

「フロッピーディスクの挿入」画面では「A:¥E100B」を入力し、「OEMオプションの選択」画面では「Intel(R) PRO Adapter」を選択します。

そのほかはPK-UG-X006ボードに添付のマニュアル通りにインストールします。

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >

アップデートモジュールをインターネット情報サービス「PICROBO」からダウンロードし、インストールしてください。

・PICROBO

<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて

専用フォーマットユーティリティの起動方法

- 1 フロッピーディスクまたはスーパーディスクをスーパーディスクドライブにセットする
- 2 「スタートボタン」「プログラム」「SuperDisk フォーマットユーティリティ」「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリック



チェック!!

・スーパーディスクフォーマットユーティリティは、起動時に挿入されている媒体を判別してフォーマット可能な容量を表示します。このためフォーマットを行う媒体は、ユーティリティ起動前にスーパーディスクに挿入しておく必要があります。

- ・ユーティリティ起動後に媒体を入れ替えた場合は、ユーティリティをいったん終了して再起動する必要があります。

注意事項

- ・スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップした場合には、720KB/1.2MB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットはすべて専用フォーマットユーティリティで行ってください。Windows NTエクスプローラや、コマンドプロンプトからのformatコマンドでのフォーマットはできません。
スーパーディスク3モード対応ドライバをセットアップしていない場合には、720KB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットは、Windows NTのコマンドプロンプトからのformatコマンドで行うことができます。
- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティで1.2MBへのフォーマットを行う場合、以下の項目を選択してください。
「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」
「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」
- ・一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、スーパーディスクフォーマットユーティリティでフォーマットした場合、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。
- ・スーパーディスク3モード対応ドライバがインストールされている場合、1.2MBのフロッピーディスクに対してコマンドプロンプトからchkdskコマンドは実行できません。誤って実行した場合、アクセスエラーの表示となることがありますがこれはフォーマットされていないことを示すものではありません。
容量等を調べる場合は、別のツール(エクスプローラなど)で参照してください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用ユーティリティの削除方法

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティは、次の手順で削除することができます。

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする

- 2 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 3 「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 4 「ドライバ」タブをクリック
- 5 「Panasonic SuperDisk」をクリック
- 6 「削除」ボタンをクリック
- 7 「はい」ボタンをクリック
- 8 「OK」ボタンをクリック
- 9 「コントロールパネル」の中にある「デバイス」をダブルクリック
- 10 デバイスの一覧の中から「mkefpd」をクリック
- 11 「スタートアップ」ボタンをクリック
- 12 スタートアップの種類で「システム」が選択されているので、「無効」をクリック
- 13 「OK」ボタンをクリック
- 14 「mkefpd」デバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか？と聞いてくるので、「はい」をクリック
- 15 「閉じる」ボタンをクリック
- 16 「スタート」ボタン 「プログラム」 「SuperDisk フォーマットユーティリティ」 「Uninstall」をクリック
- 17 画面の指示に従って削除をする
- 18 本機を再起動する

以上で削除は終了しました。

FDISKについて

NetPCモデルで再セットアップ中に領域を削除 / 確保する場合は、次の手順で行ってください。

- ✔ **チェック!** Windows NTのセットアップ後に領域の削除や確保を行う場合は、「ディスクアドミニストレータ」を利用してください。詳しくはWindows NT 4.0 のヘルプをご覧ください。

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域について

FDISKコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除してから作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。このうち基本MS-DOS領域がCドライブ (Windows NTを起動するドライブ) になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

領域を削除する

- ✓チェック!!** ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。

1 コマンドプロンプトから次のように入力する

FDISK【Enter】

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

```
MS-DOS Version 6
ハードディスクセットアッププログラム
(C)Copyright Microsoft Corp. 1983 - 1993

FDISK オプション

現在のハードディスク: 1
次のうちからどれか選んでください:

1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示

どれか選んでください: [1]

FDISK を終了するには Esc キーを押してください。
```

論理MS-DOSドライブを削除する

- ✓チェック!!** ハードディスクに基本MS-DOS領域しかない場合は、「基本MS-DOS領域を削除する (P.63)に進んでください。

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「3. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 ドライブ一覧とともに「どのドライブを削除しますか」と表示されるので、削除するドライブを選択し(Dドライブの場合は【D】を押す)【Enter】を押す

- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、ボリュームラベルが付けられている場合は入力し、【Enter】を押す
入力する必要がない場合(削除する領域にボリュームラベルが付けられていない場合)は、そのまま【Enter】を押す
- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 他に削除したいドライブがある場合、残りのドライブも同様に3~5の手順ですべて削除する
- 7 すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す
- 8 「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「削除した拡張MS-DOS領域データはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「1. 基本MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す
- 3 現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されるので、【1】を押し、【Enter】を押す
- 4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、ボリュームラベルを入力し(何もボリュームラベルが付けられていない場合はなにも入力せずそのままの状態で)【Enter】を押す
- 5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 6 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

領域を作成する

基本MS-DOS領域を作成する

基本MS-DOS領域の作成

基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・ 最大(2,047Mバイト)に割り当てる場合
 <基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合>
- ・ 最大に割り当てないでサイズを指定する場合
 <基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合>

<基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合>

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されたら、【Esc】を押す
- 5 「拡張MS-DOS領域を作成しますか」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す
- 6 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されますので、【N】を押し、【Enter】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

<基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合>

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【N】を押し、【Enter】を押す

- 4 「領域サイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、数値を入力して【Enter】を押す



- ・すでに最大領域2,047が入力された状態で表示されているので、そのまま【Enter】を押すと最大領域が作成されます。
- ・割合は全体に対する割合なので、モデルによって同じ%を指定しても作成される容量は異なります。

例：ハードディスクの容量が6Gバイトの場合 20% 約1229Mバイト
ハードディスクの容量が8Gバイトの場合 20% 約1638Mバイト

- 5 「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

- 6 【2】【アクティブな領域を設定】を押し、【Enter】を押す

- 7 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されるので、【1】を押し、【Enter】を押す

- 8 「領域1がアクティブになりました」と表示されたら、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を作成する

- 1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す
- 2 「2. 拡張MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す
- 3 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、最大サイズが表示されていることを確認し、【Enter】を押す
- 4 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されるので、【Esc】を押す

次に「論理ドライブを割り当てる」に進んでください。

論理ドライブを割り当てる

- 1 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。
作成されると、「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。
- 2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っている場合は、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズで割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す。そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズを割り当てられます。
拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当ててください。
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。
- 3 【Esc】を押し、もう一度【Esc】を押してFDISKオプションの画面を終了する



FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。



活用ガイド 再セットアップ編

PC98-**NX** シリーズ

Mate **NX**

(Windows NT 4.0インストールモデル)

二版 2000年1月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率100%)を使用しています。